

6 | コントロールバンディングの実施

1 | 作業情報の入力

Step1 > Step2 > Step3 > Step4

ステップ1: リスクアセスメントを行う作業
 まず始めに、リスクアセスメントを行う作業を決めます。
 ・どこで行っているか
 ・何人で行っているか
 ・取り扱っている化学物質は何か またその性状はどのようなものか
 有害な情報があるもの(登録に表示されたラベル、SDSなど)もご用意ください。

※は必須項目です。

タイトル	鉚金塗装作業
担当者名	山田太郎
作業場所	東京工場
作業内容	塗装
作業人数	10人未満
液体・粉体	<input checked="" type="radio"/> 液体 <input type="radio"/> 粉体
化学物質数	1

完了

※本サイトでは、入力情報の取廃・登録を行っていません。

① 作業情報を入力します。

- ・タイトル：作業のタイトルの入力 (例) 鉚金塗装作業
- ・担当者名：作業担当者の入力 (例) 山田太郎
- ・作業場所：作業する工場の入力 (例) ○○工場
- ・作業内容：作業内容の選択 (例) 塗装
- ・作業人数：作業時の人数を選択 (例) 10人未満
- ・液体、粉体：取扱い製品の性状を選択 (例) 液体
- ・化学物質数：製品別のコントロールバンディングを行う為、“1”

② “次へ”を押して、2-1へ。

2-1 | 作業状況の入力

1. 化学物質の名称
 化学物質名: レタンPGハイブリッドエコ531ホワイト

2. 物理的及び化学的性質
 性状: 液体
 沸点: 124.5℃
 融点: 20℃

※は必須項目です。

化学物質名称	レタンPGハイブリッドエコ531ホワイト
GHS分類区分	選択 (4)
沸点	124.5
取扱温度	20
取扱量単位	<input checked="" type="radio"/> L (取扱量ラック: 多量)

化学物質の入力項目を追加する

③ 作業状況を入力します。

- ・化学物質名称：製品名を入力
(例) レタンPGハイブリッドエコ531ホワイト
- ・GHS分類区分：ステップ2-2で入力
- ・沸点：SDSの“物理的及び化学的性質”を参考に、沸点を入力 (例) 124.5℃
- ・取扱い温度：作業場の室温を入力 (例) 20℃
- ・取扱い量単位：作業での使用量を選択 (例) L単位

④ GHS分類区分の“選択”を押して、ステップ2-2へ

2-2 | GHS分類区分の入力

選択 (GHS分類区分を入力するための表が開きます。)

※該当する項目にチェックを入れ、OKボタンを押してください。
 複数項目 (少なくとも1項目以上) についてチェックしてください。

急性毒性 (急性経口)	<input type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2 <input type="checkbox"/> 区分3 <input type="checkbox"/> 区分4
急性毒性 (経皮)	<input type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2 <input type="checkbox"/> 区分3 <input type="checkbox"/> 区分4
急性毒性 (経吸入)	<input type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2 <input type="checkbox"/> 区分3 <input type="checkbox"/> 区分4
急性毒性 (吸入: ガス)	<input type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2 <input type="checkbox"/> 区分3 <input type="checkbox"/> 区分4
急性毒性 (吸入: 蒸気)	<input type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2 <input type="checkbox"/> 区分3 <input type="checkbox"/> 区分4
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	<input type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2 <input type="checkbox"/> 区分3 <input type="checkbox"/> 区分4
皮膚腐食性/刺激性	<input type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	<input type="checkbox"/> 区分1 <input checked="" type="checkbox"/> 区分2
呼吸器刺激性	<input type="checkbox"/> 区分1
皮膚刺激性	<input type="checkbox"/> 区分1
生殖細胞変異原性	<input checked="" type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2
発がん性	<input type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2
生殖毒性	<input type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2
特定の臓器毒性 (単回ばく露)	<input type="checkbox"/> 区分1 <input checked="" type="checkbox"/> 区分2 <input type="checkbox"/> 区分3
特定の臓器毒性 (単回ばく露) (経吸入のみ)	<input type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2
特定の臓器毒性 (反復ばく露)	<input type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2
特定の臓器毒性 (反復ばく露) (経吸入のみ)	<input type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2
吸入性呼吸器有害性	<input type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2
その他	<input type="checkbox"/>

全チェッククリア

OK 取消

⑤ SDSの“危険有害性の要約【GHS分類】”から該当項目を入力します。

2. 危険有害性の要約
 【GHS分類】
 GHS分類を評価した結果、GHS分類に該当した項目のみ表示しています。
 表示の無い項目は、分類できない、区分外のいずれかに当たります。

引火性液体	区分 3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
生殖細胞変異原性	区分 1
特定の臓器毒性 (単回ばく露)	区分 2 (呼吸器, 神経)
水生環境有害性 (急性)	区分 3

⑥⑦ “OK” “次へ”を押して、3へ

※は必須項目です。

化学物質名称	レタンPGハイブリッドエコ531ホワイト
GHS分類区分	選択 (GHS分類区分を入力するための表が開きます。)
沸点	124.5
取扱温度	20
取扱量単位	<input checked="" type="radio"/> L (取扱量ラック: 多量)

化学物質の入力項目を追加する

完了